

TOYOBO NOW

第156期 中間報告書
2013年4月1日～2013年9月30日

TOYOBO
Ideas & Chemistry



TOPICS

無限大の可能性を秘めたクッション材 「ブレスエアー®」を欧州で生産開始

震災復興に技術で貢献

スペインの診断薬・診断機器製造販売会社を買収

ブラジルで自動車部品用の高性能樹脂事業を展開



BREATHAIR®
ブレスエアー®

LONG SELLING PRODUCTS

1996年に量産を開始し、ウレタンフォームに替わる機能性クッション材として、新幹線N700系をはじめとする各鉄道車両シート、自動二輪のシート、敷布団、マットレスなど幅広い用途で展開しています。



東洋紡株式会社

TOP MESSAGE

株主のみなさまへ



代表取締役社長 坂元龍三

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、海外においては、中国をはじめとするアジア新興国の成長鈍化、長引く欧州の景気低迷、また債務上限問題で揺れた米国経済の先行き不安など、不透明な状況が続きました。一方、国内においては、政府主導の経済政策を背景とした円安基調や株高が続く中、景気は緩やかに回復しました。

このような環境のもと、当社グループは、「環境、ライフサイエンス、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけるカテゴリー・リーダー」をめざし、特長のある製品を、国内外の市場へ展開し、拡大に向けた事業活動を進めております。成長拡大に向けては、「能力増強投資」、「海外展開加速」、「新製品開発」および「資産効率向上」の4つのアクションプランを掲げ、当期間においても、これらのプランに沿った事業活動を進めました。「能力増強投資」としては、包装用と工業用の両フィルムの生産に対応し、市場環境の変化に柔軟に対応できる製造設備の立上げを進めました。また医薬事業では、国内で高まる医薬品製造受託のニーズに応えるために、新設備を稼働させました。「海外展開加速」においては、ドイツに新設した工場で機能性クッション材「ブレスエアー®」の生産を開始、欧州市場での事業展開を加速しました。また、バイオ事業では、スペインの診断薬・診断機器製造販売会社を買収、アフリカや中南米の新興国市場への展開に向けた基盤作りを進めました。さらに「新製品開発」については、製品ポートフォリオを改革すべく、特殊な光学特性を持つ液晶向け工業用フィルム“SRF”、7月から保険適用を受けた医療機器「ナーブリッジ®」などの拡販に注力しました。また「資産効率向上」としては、ポリエステル

業績ハイライト

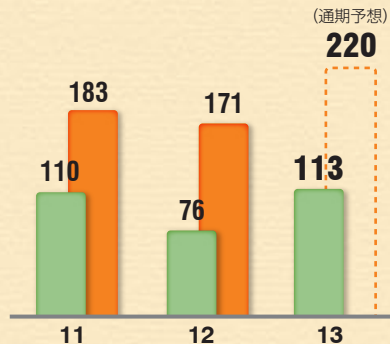
売上高 (億円)

■ 上半期 ■ 通期



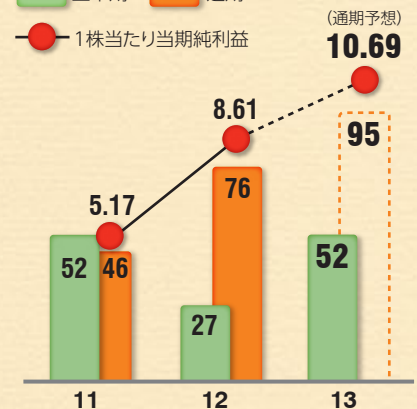
営業利益 (億円)

■ 上半期 ■ 通期



当期純利益 (億円)・1株当たり当期純利益 (円)

■ 上半期 ■ 通期



タイヤコード事業からの撤退を計画どおりに進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績としましては、売上高は前年同期比34億円(2.0%)増の1,745億円となり、営業利益は同36億円(47.6%)増の113億円、経常利益は同43億円(66.5%)増の108億円、四半期純利益は同25億円(90.8%)増の52億円となりました。

中間配当につきましては、財務状況や財務体質の強化なども勘案して見送らせていただくことといたしました。

2013年度通期業績につきましては、概ね予想どおりに推移しており、売上高3,500億円(前期比110億円増)、営業利益220億円(同49億円増)、経常利益195億円(同40億円増)、当期純利益95億円(同19億円増)を予想しています。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

GLOBAL REPORT



スペインの診断薬・診断機器製造販売会社を買収

当社は、7月31日、スペインに拠点を置く診断薬・診断機器製造販売会社であるSpinreact S.A.U. (以下「スピリアクト社」)の全株式を取得しました。

スピリアクト社は、アフリカ・中南米・欧州・アジアなど世界90か国に代理店を有し、新興国市場向けの診断薬関連製品などを豊富に揃えています。

今後、スピリアクト社の世界的販売網の活用等により、既存事業の拡大を図りつつ、両社のバイオ技術を融合した新製品の開発、新市場の開拓を推進することで、バイオ分野の海外展開を拡大していきます。



スピリアクト社



ブラジルで自動車部品用の高機能樹脂事業を展開

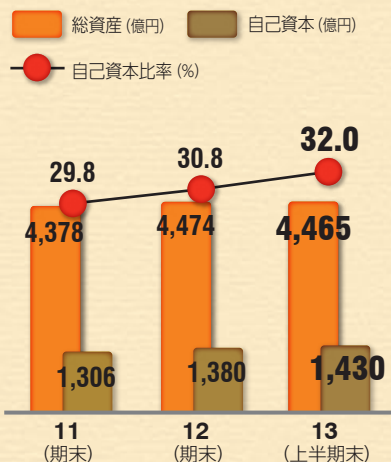
当社は、自動車部品用の高機能樹脂(エンジニアリングプラスチック)事業をブラジルで展開するため、東洋紡ブラジル(有)アメリカーナ工場(サンパウロ州)内に新工場の建設を決定しました。

ブラジルは、昨年度の自動車販売台数が約380万台と世界第4位で、今後も有望な市場と見込まれています。当社は、現地生産が進む自動車部品メーカーへの供給体制を構築するため、50年以上の歴史がある同工場内に生産設備(年産5,000トン)の新設を決定し、2014年8月の稼働をめざしています。

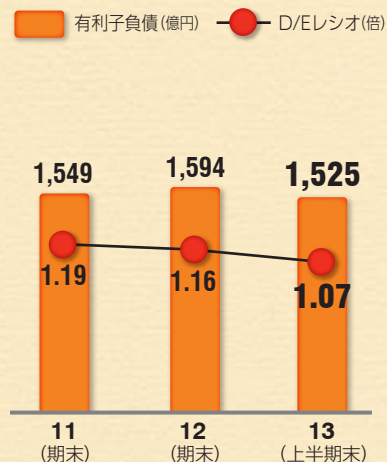


東洋紡ブラジル(有)アメリカーナ工場

総資産・自己資本・自己資本比率



有利子負債・D/Eレシオ



フィルム・機能樹脂事業

フィルム事業では、包装用フィルムは、天候不良による食品用の需要低迷に加え、原料価格上昇に対する製品価格改定の遅れもあり、苦戦しました。工業用フィルムは、スマートフォン、タブレットPC部材用途が堅調に推移し、緩やかに回復しました。機能樹脂事業では、工業用接着剤「バイロン®」の中国向け電子部品用途などが中国市場低迷の影響を受け、苦戦が続きしました。エンジニアリングプラスチックの主力である自動車部材用途は、北米向けを中心に好調に推移しました。

売上高 **749** 億円
 ↑ **6.2%** 増
 (前年同期比)
 営業利益 **48** 億円

ライフサイエンス事業

バイオ事業では、主力製品である診断薬用酵素の販売が国内外で好調に推移しました。メディカル事業では、医薬品製造受託が、注射剤案件の順調な推移に加え、新設備の稼働もあり、増収となりました。医療機器では、保険適用を受けた神経再生誘導チューブ「ナーブリッジ®」の本格販売を開始しました。機能膜事業では、医用膜は、国内向けの販売回復が遅れましたが、海水淡水化用逆浸透膜は、サウジアラビアの新規大型案件向けの出荷や、国内外の既存プラント向け交換膜の出荷が好調に推移しました。

売上高 **131** 億円
 ↑ **3.7%** 増
 (前年同期比)
 営業利益 **26** 億円

産業マテリアル事業

エアバッグ用基布は、北米向けを中心に堅調に推移しました。タイヤコードは、12月で事業撤退することを決定し、その影響で大幅な減収となりました。スーパー繊維では「ダイニーマ®」は、船舶用ロープ、防護手袋用途を中心に安定的に推移しましたが、「ザイロン®」は、耐熱材料用途などの販売が伸び悩みました。機能フィルターでは、VOC処理装置がアジアでのユーザーの設備投資延期の影響を受け、苦戦が続きました。生活・産業資材では、機能性クッション材「プレスエアー®」が寝装用途を中心に販売数量を伸ばし、増収となりました。

売上高 **347** 億円
 ↓ **1.1%** 減
 (前年同期比)
 営業利益 **23** 億円

衣料繊維事業

スポーツ衣料製品は、円安による海外生産品のコストアップで収益が悪化しましたが、テキスタイルでは、中東向けの特化生地の販売数量が堅調に推移する中、輸出採算の好転もあり、収益が改善しました。アクリル繊維は、中国向けが堅調に推移しました。

売上高 **397** 億円
 ↓ **2.7%** 減
 (前年同期比)
 営業利益 **18** 億円

不動産事業 その他事業

当事業では、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

売上高 **121** 億円
 ↑ **0.2%** 増
 (前年同期比)
 営業利益 **14** 億円

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	当上半期末 (2013年9月30日現在)	前期末 (2013年3月31日現在)	科 目	当上半期末 (2013年9月30日現在)	前期末 (2013年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	176,158	184,739	流動負債	163,159	164,831
固定資産	270,367	262,707	固定負債	122,873	127,093
有形固定資産	208,523	202,273	負債合計	286,031	291,923
無形固定資産	2,720	1,242	純資産の部		
投資その他の資産	59,124	59,191	株主資本	107,130	105,242
資産合計	446,525	447,445	その他の包括利益累計額	35,892	32,782
			少数株主持分	17,470	17,498
			純資産合計	160,493	155,522
			負債・純資産合計	446,525	447,445

無限大の可能性を秘めたクッション材「ブレスエアー®」



「ブレスエアー®」は、クッション性と通気性に優れ(ウレタンシートの10倍以上の通気性)、心地よさを追求した機能性クッション材です。丸洗いも可能で清潔なため、ベビーカーや医療用マットレスにも採用されています。

好調な国内販売に加え、9月初旬からは、欧州(ドイツ)に新設した工場で、本格的生産を開始しました。

今後は、環境意識の高い欧州市場において、これまでの自動車や鉄道向けシート、マットレス用途に加え、家具やポット等へも展開し、事業拡大を図ります。

「ブレスエアー®」は、当社の熱可塑性ポリエステル系エラストマー「ペルプレ®」を繊維状にして複雑に組み合わせた三次元スプリング構造体です。

三次元
スプリング
構造体



震災復興に技術で貢献

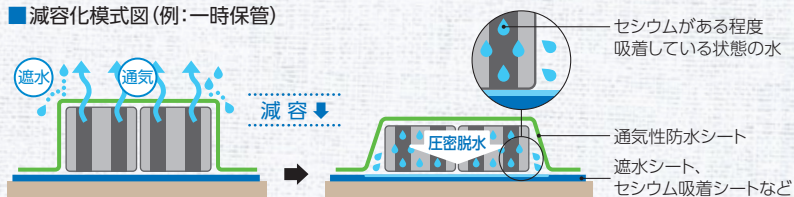
当社では、「東洋紡グループ震災復興対策チーム」を結成し、放射性物質吸着材や通気性防水シートなどの製品を開発しています。

国の「除染ロードマップ」によると、①14年末までに放射性廃棄物を「除染」し、仮置き場に集積する、②15年1月から中間貯蔵施設へ搬入し、同施設で分別・減容化をして30年貯蔵する、③最終処分場へ移送するの3段階で処理される予定です。当社では、当社の開発品を組み合わせることにより、仮置き中に除染廃棄物の減容化を図ることを提案しています。

写真は、除染された放射性廃棄物の上にかげられた当社の「ボランス®キャッピングシート」です。このシートは、雨水は浸透しませんが、内部から発生するガスは透過させることができる通気性防水シートです。中間貯蔵施設に移されるまでの間、仮置き場で確実に除染物を守ります。

今後も東洋紡グループの素材や技術を駆使して、震災復興に貢献していきます。

■減容化模式図(例:一時保管)



確実に
除染物を
守る

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当上半期累計 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
売上高	174,485
売上原価	136,032
売上総利益	38,454
販売費及び一般管理費	27,186
営業利益	11,268
営業外収益	2,445
営業外費用	2,927
経常利益	10,785
特別利益	612
特別損失	3,157
税金等調整前四半期純利益	8,240
法人税等	2,552
少数株主損益調整前四半期純利益	5,688
少数株主利益	531
四半期純利益	5,157

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当上半期累計 (自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,872
現金及び現金同等物に係る換算差額	356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 8,545
現金及び現金同等物の期首残高	26,467
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,103
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	40
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,064

(記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。)

会社の概要・株式の状況

(2013年9月30日現在)

社名 東洋紡株式会社
 英文社名 TOYOBO CO., LTD.
 証券コード 3101
 創立 1882年(明治15年)5月3日
 設立 1914年(大正3年)6月26日
 資本金 51,730,003,166円
 本社 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
 (代表 06-6348-3111)
 東京支社 東京都品川区東五反田二丁目10番2号
 名古屋支社 名古屋市西区市場木町390番地*注
 従業員数 連結 10,742名 単体 3,094名

(注)2013年10月15日付で移転いたしました。

役員

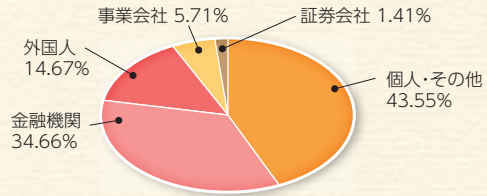
代表取締役社長	社長執行役員	坂元龍三
代表取締役	常務執行役員	高橋寛
取締役	常務執行役員	香山和正
取締役	常務執行役員	高林博
取締役	執行役員	檜原誠慈
取締役	執行役員	松井敬之
取締役	執行役員	矢野邦男
取締役	執行役員	佐野茂樹
取締役	*注1	荻村道男
監査役(常勤)		下道節男
監査役(常勤)		森田盛人
監査役	*注2	今中博
監査役	*注2	鶴飼昭生

(注1)取締役のうち荻村道男氏は社外取締役であります。

(注2)監査役のうち今中博氏および鶴飼昭生氏は社外監査役であります。

発行可能株式総数 2,000,000,000株
 発行済株式の総数 890,487,922株
 (自己株式1,928,368株含む)
 株主数 94,712名

株式分布の状況(所有者別)



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	53,091	5.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,059	4.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	26,719	3.01
日本生命保険相互会社	19,826	2.23
東友会	16,997	1.91
東洋紡従業員持株会	13,515	1.52
株式会社みずほ銀行	13,393	1.51
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,214	1.49
株式会社三井住友銀行	13,034	1.47
明治安田生命保険相互会社	11,029	1.24

(注)持株比率は、自己株式(1,928,368株)を控除して計算しております。

関係会社

	国内	海外	計
連結子会社	34	22	56
持分法適用会社	5	4	9
計	39	26	65

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 (期末の配当金受領株主確定日 3月31日)
 定時株主総会 6月に開催いたします。
 基準日 定時株主総会の基準日は3月31日といたします。
 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
 単元株式数 1,000株
 公告掲載ホームページアドレス <http://www.toyobo.co.jp>
 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

各種手続のお申出先

- 住所変更、名義変更、配当金の受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)の株主さま(下の区分を除く)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (左記、照会先をご参照ください。)
御幸ホールディングス株式会社との株式交換により当社株主となられた特別口座の株主さま	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

※証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。なお、2009年9月1日付、当社と御幸ホールディングス株式会社との株式交換により当社株主となられた場合は、御幸ホールディングス株式会社において特別口座が開設された三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

- 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元未満株式(1~999株)をお持ちの方へ

単元未満株式をお持ちの場合、当社に対して、次の請求を行うことにより、売却または1,000株におまとめいただくことができます。ぜひ、以下の制度をご利用ください。

買取制度 単元未満株式の買取を請求する。
買増制度 単元株式(1,000株)にするため、不足する株数の株式の売り渡しを請求する。

(例)当社株式650株をお持ちの場合



お手続方法につきましては、上記のお申出先へお問合せください。